

商業活性化部会

本年度第2回目の商業活性化部会が2月18日(木)に奈良商工会議所内の302会議室において開催されました。この日行われた協議内容についてご報告いたします。

■協議と協議内容

1. 今後の中心市街地活性化協議会の方向性と課題について

○提案内容：今後の協議会活動において、どのような展望と計画を持って推進すれば良いか。

●検討課題：

- ①先の事業仕分けにおいて廃止が決定した「奈良マーチャントシードセンター」の今後の活用について
- ②本年1月末で閉館された「シネマデプト友楽」の今後について
- ③民間活力を導入した新たな事業の掘り起こしについて

○出された意見

(マーチャントシードセンターに関して)

- 建物があるのだから、目的にあった活きた活用を考える。
- 商業者の拠点となるマーチャントは必要である、しかし今後の維持管理を考えるとお金の取れる施設活用を考える必要があるのでは。
- 当協議会事務局のマーチャントシードセンターへの移行、また現在の各商店街の事務所機能の集約した形での利用など。
- 現在の財団管理から、受け皿とした地域活性化を目的とした民間資本の「まちづくり会社」への移行が望ましい。



- 中心市街地活性化の拠点機能とか、コミュニティビジネスとか、新たな観光関連産業を支援する機能を有する新たな商業支援施設をイメージ。
- 姉妹都市物産展は本年2月に1回だけの開催だが、定期的に物産展などを開催しては。
- 財源を確保できる形で移行しないと、これまでのように市から補助金をいただく時代ではない。
- あくまでも民間活力、また民間主導で運営される「まちづくり会社」の立ち上げがベターで、その為には自主財源の確保が必要不可欠となる。

(シネマデプト友楽に関して)

- 中心市街地内のメイン道路である三条通りに面した「シネマデプト友楽」の閉館は街の賑わいに大きなマイナス要因である。
- シネマデプト友楽周辺一帯の再開発を検討しては。
- 今後、どのような事業展開が行われるのかは、現時点ではまだ解らないので今後の課題としては。

(新たな事業の掘り起こしについて)

- 一昨年7月に中心市街地活性化基本計画事業であったテナントミックス事業として「オーケスト」がもちいどのセンター街にオープンしたが、その後新たな事業が出てきていない。中心市街地活性化基本計画内での活性化事業に対して国の「戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金」を受けられることができる可能性がある点をもっと周知しなくては。
- 三条通ショッピングモールでは、拡幅事業に伴って銀行移転などによる空地が発生しており、新たな事業展開を検討される余地があるのでは。
- 残念なことに大門市場が閉鎖された。奥行き長い椿井市場には、入り口には鶏肉屋さん、中程には中華料理屋さんが営業されているが、ユニークなお店の出店により、ひとつのワンダーランドに。奈良女子大学などの協力を得るのも手では。

2. 協議会主催の中心市街地活性化セミナー及びイベント実施について報告がなされる。

「第4回近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会」が伊丹市において開催

1月28日（木）午後1時30分から「第4回近畿中心市街地活性化協議会ネットワーク研究会」が伊丹市中央3丁目の小西酒造株式会社（清酒「白雪」本社ビル）地下ホールにおいて開催されました。

当ネットワーク研究会は、近畿圏を中心に、各地域の中心市街地活性化の実現に向けての課題を解決するために、ネットワークを構築し、課題・情報の共有化、意見交換及び課題解決に向けての方策について研究することを目的として昨年2月に設立され、今回が4回目の開催となりました。

この日は、13地域の市役所・協議会関係者をはじめ、近畿経済産業局・中小機構近畿支部の関係者など44名が参加し、活発な意見交換が行われました。

まず地元開催地の伊丹市中心市街地活性化協議会の会長である南方忠勝氏より、中心市街地の空洞化、特に空き店舗問題・後継者問題等々は伊丹市だけに限らず各地域共通の大きな問題ではないか、本日の皆様のご議論が有意義なものとなることを願うと歓迎の挨拶をいただきました。

次に、伊丹市都市企画室の綾野昌幸氏より平成20年7月認定の伊丹市中心市街地活性化基本計画の数値目標などの概要説明があり、①中心市街地内における文化施設利用者数の増加、②2軸における歩行者・自転車通行量の増加、③まちづくりサポーターの登録者数の増加、④中心市街地空き店舗の減少、の4つの数値目標のうち④の空き店舗の減少については景気の影響もあり苦戦していますとのことでした。しかし認定後、若者や婦人たちといった、まち衆の力が成長・拡大してきていることを成果として感じておられるとのことでした。

続いて、伊丹ネクストジェネレーションの富岡宏行氏より報告があり、伊丹ネクストジェネレーションというのは、伊丹の20代から30代の若手の商業者が色々なイベントを通して集まった集団で、自分たちで出来るレベルでの活動を追求、そのことが結局中心市街地の活性化につながるのではないかと伊丹では今若手がどんどん



活動しはじめています、とのことでした。

次に、市文化振興財団の中脇健児氏より伊丹市における官民協働の取組み事例発表①として「鳴く虫と郷町」について説明が行われました。この「鳴く虫と郷町」とは、江戸時代から酒造業などで栄えてきた伊丹市内の郷町界隈を舞台に、約15種2,000匹の虫の声を楽しむイベントで、昨年秋の開催で4年目を迎え参加・協力団体は24、参加商店約100、関連イベント数も30と年々大きくなって来ているとのことでした。

その後、伊丹市における官民協働の取組み事例発表②として「伊丹まちなかバル」について、伊丹まちなかバル実行委員会の村上有紀子氏より説明がありました。村上氏は普段は主婦をなさっておられます。

「伊丹まちなかバル」とは、伊丹市中心市街地活性化協議会の主催で、「清酒発祥の地」伊丹市の中心市街地に近頃、飲食店が増えてきたので、スペインの食文化を代表する「バル街」を伊丹のまちなかに再現しようと昨年10月17日に初めて開催。村上さんは、このイベントを通じ色々な人とのコミュニケーションと情熱を感じながら関わられたと話しておられました。

その後、ネットワーク研究会参加者は、2班に分かれ伊丹市の綾野主幹と中脇氏の案内で伊丹酒蔵通りや文化施設など伊丹の中心市街地の視察を行い、また会場へと戻りました。

続いて第2部として、ワークショップを展開しました。「官民協働のあり方について～出来ていること・出来ていないこと～」と「イベントのあり方について～効果的なイベントとそうでないイベント～」の2つの大きなテーマに分かれ、官民協働のあり方について2班、イベントのあり方について3班の合計5班に分かれて行いました。



各人が自分たちの地域での取組事例や、他の地域の人に聞いてみたいことをシートに記入・発表し、それに対して班の人たちが意見を出し合い、まとめを皆に発表するという形で進められました。

その後、今後の当研究会の進め方等について事務局より報告がなされ、また次回は5月の連休明けに大津市で開催予定をされているとのことでした。

最後に当研究会の東朋治会長よりの挨拶で閉会されました。



NPO法人まちづくり協会理事長の三橋重昭先生 協議会を訪問

去る平成22年2月12日（金）午後、NPO法人まちづくり協会理事長を努めておられ「よみがえる商店街」（学芸出版社）等の著者でおられる三橋重昭先生が当協議会を訪問されました。

協議会運営委員長の内野商工会議所専務理事、当協議会の木野本事務局長、協議会委員で奈良もちいどのセンター街協同組合理事長の松森委員が対応させていただきました。

昨年11月に行われた市の事業仕分けで廃止が決定となった奈良マーチャントシードセンターについてのご意見や、ご指摘をいただいた他、奈良市の観光、商店街活性化についても多数のアドバイスを下さり、その中でも奈良の景観、もちいどのセンター街内のオーケストや夢キューブには好評価をいただきました。

しかし、まだまだ観光アピールなどは弱い部分があるということで、奈良漬や和菓子などをもっとアピールし、



積極的に試食を出したり、情報を発信して行くことによって、奈良の活力を向上させる必要があるということでした。

今後、協議会でも活発に協議や事業を行い、奈良は他の地域と違ったことを行っているとPRするなどといった多くの貴重なご意見を頂戴することができました。

奈良市中心市街地活性化セミナー開催される！

去る2月25日（木）、奈良商工会議所4階中ホールに於いて、【奈良市中心市街地活性化セミナー－奈良市中心市街地のにぎわいのあるまちづくり－】を開催いたしました。

当日の参加者は66名で、皆さん熱心に聴いておられました。今回のセミナーの詳細については、次回発行の「なら賑わい通信」第28号にて掲載させていただきます。

～ お知らせ ～

『まちなか1300年祭』開催に伴う大募集のお知らせ

『まちなか1300年祭』は、わが街・奈良が、今年迎えた平城遷都1300年を、みんなでお祝いしようという『まちなか』イベントです。

遣唐使船をモチーフとした山車や、50年前の1250年祭に作られた神輿のパレードほか、猿沢池の竜頭船遊覧体験や、シルクロードの芸能文化ステージなどを企画中。

このイベントと一緒に盛り上げてくれる参加者・学生スタッフを募集します。

詳細お問い合わせは、0742-26-1666 『奈良市中心市街地活性化協議会 事務局』まで。

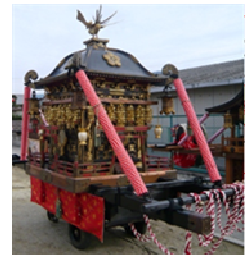
【 募集内容 】

『まちなか広場』でのステージ出演者（5月29・30日 11時～16時開催予定）

- ★ JR奈良駅前特設ステージほかの出演者を募集。30～50組予定。テーマはシルクロード関連の芸能文化パフォーマンス。ヨーロッパ、中東、アジア広場（仮称）の3会場を予定。参加費無料。選考有。応募締切は4月15日、出演決定は4月下旬に連絡。

『まちなか1300年パレード』参加者

- ★ 遣唐使船の山車を先頭のお祝いパレード（5月30日16時開催予定）を、商店街を中心とした『まちなか』で開催。遣唐使の帰国を喜び、遣唐使とともに様々な国からの偉人たちを迎えた、当時の奈良に思いを馳せて見ませんか。参加者募集。参加費2000円（衣装クリーニング代他）必要。募集人数180人。定員になり次第締切。
- ★ 遷都1250年祭に作られた神輿をまちなかの商店街で引きます。50年前のシンボルを、50年後の奈良を担う子供達に引いてもらいます。小学生高学年、募集人数50名。定員になり次第締切。参加費無料。



『運営学生ボランティアスタッフ』

- ★ 責任感を持って行動し、一緒に『まちなか1300年祭』を盛り上げてくれる体力に自信のある運営学生スタッフを募集。事前登録後、説明会や事前活動等も有。

申し込みは、往復はがきで、住所・氏名・性別・年齢（学年）と、ご希望の参加内容を明記の上、下記までお申し込み下さい。

〒630-8586 奈良市登大路町36番地の2 奈良商工会議所内

奈良市中心市街地活性化協議会 事務局行

問い合わせは、0742-26-1666 まで。